



イビデン健康経営 *Report 2026*

~ *New Stage of Health 115 plan* ~

報告対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日(一部対象外の情報も掲載しています)
報告対象範囲：イビデンおよび国内グループ会社(一部の項目は個々に範囲を記載しています)

Moving on to our New Stage 人と地球に優しいイビデン

従業員とご家族の心身の健康は、健全な経営を支える基盤であり、当社グループの発展に不可欠です。予防に重点をおいた活動を積極的に展開し、従業員1人ひとりの健康づくりを支援するため、2017年に代表取締役社長名で「イビデングループ健康経営宣言」を制定しました。



イビデングループ健康経営宣言

イビデングループは、「人と地球環境を大切にする」という企業理念のもと、従業員一人ひとりの健康づくりを積極的に支援します。構内で働くすべての従業員が心身ともに健康で元気に活躍することによって、イビデングループが健全に成長しつづけ、豊かな社会づくりに貢献することを目指します。

3つの健康づくり

01 生涯にわたる 元気な身体づくり

構内への健康増進スペースの設置や健康イベント等を計画的に実施し、運動習慣を身につける活動を推進します。

02 健康を守る 環境づくり

心身の健康に早い段階から気付き、相談できる体制の整備や、徹底した分煙によりタバコの影響を減らす活動を推進します。

03 健康を守る 習慣づくり

社員自身によるヘルスプロモーションを積極的に支援します。

代表取締役社長 河島浩二

健康経営のサポート体制：衛生部会

イビデングループ 衛生部会の方針

構内で働くすべての従業員の健康管理は健全な企業成長の基盤であるとし、イビデングループ衛生部会では健康寿命の延伸・生産性向上・満足度の向上を経営課題と捉え、健康づくり・健康管理のための情報提供、啓発活動などを行い、ひとりひとりの意識や行動変容を促す活動を積極的に展開しています。

最高責任者（代表取締役社長）

衛生部会

WLB推進グループ

健康管理推進センター

健康保険組合

労働組合

安全衛生部

各事業場 衛生管理者

安全衛生委員会

衛生部会は、社内規定に基づき以下の人員で構成しています。

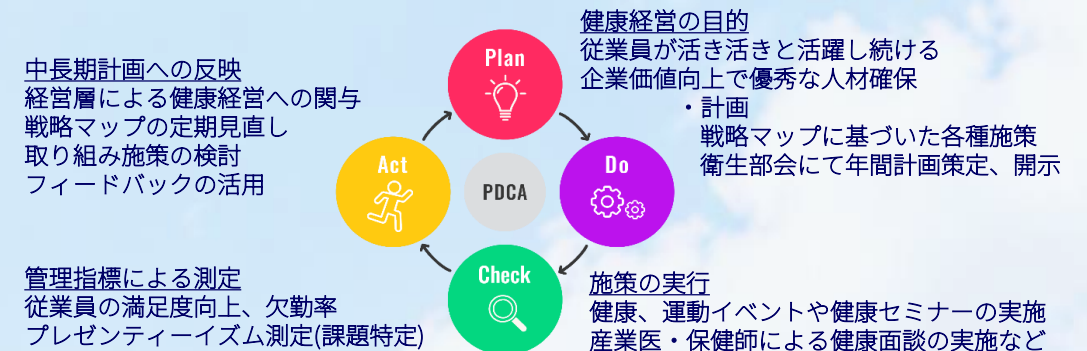
□ 部会長：人事担当部門長

□ 事務局：人事担当部門（WLB推進グループ）

□ 部会員：健康管理推進センター（産業医/保健師）、労働組合、健康保険組合、環境安全衛生担当部門、事業場衛生専任者、人事担当部門

衛生部会の活動

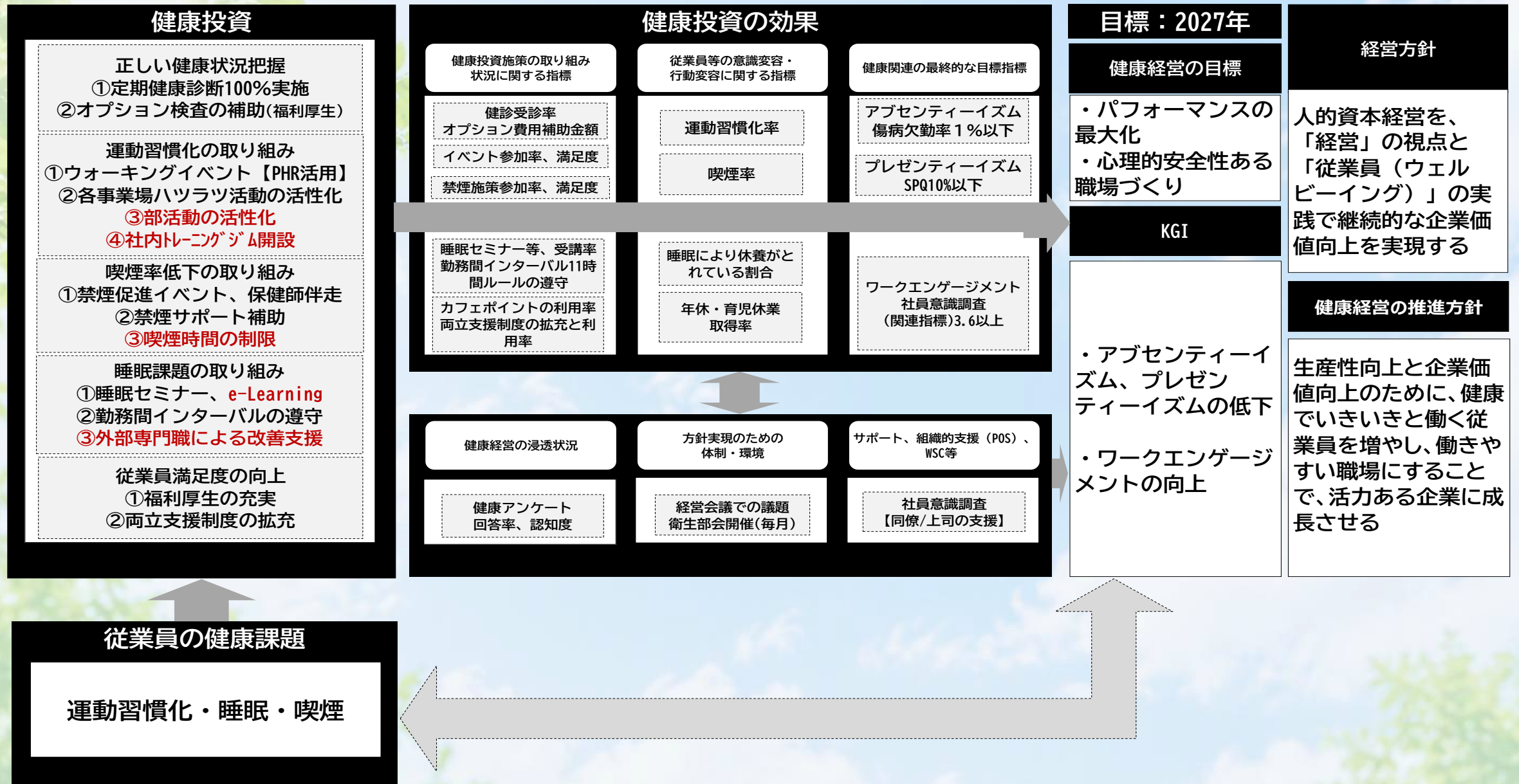
衛生部会では健康経営への理解の促進と、様々な運動イベントや健康セミナーを企画運営しています。参加者の意見を吸い上げ、管理指標による測定を行い、全従業員が意欲的に参加できるよう工夫し、PDCAサイクルに取り組んでいます。



健康経営優良法人認定

当社は2017年以降、健康経営の積極的な取り組みが評価され、10年連続で健康経営優良法人 ホワイト500の認定を取得しています。また、2025年には『健康経営銘柄』に初めて選定されました。従業員の健康保持・増進による生産性向上と、認定制度への参画を継続し、企業価値向上による優秀な人材確保で、健全な成長を目指します。

健康経営：戦略マップ

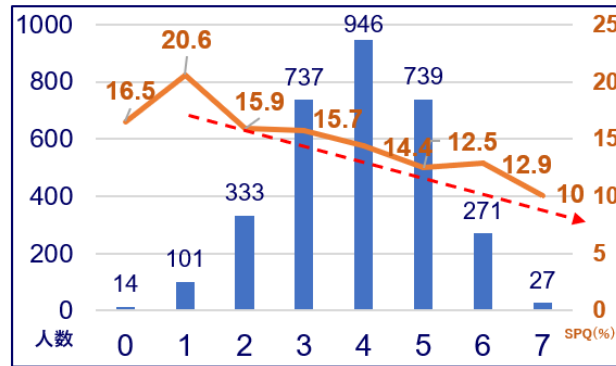


当社の健康における課題設定

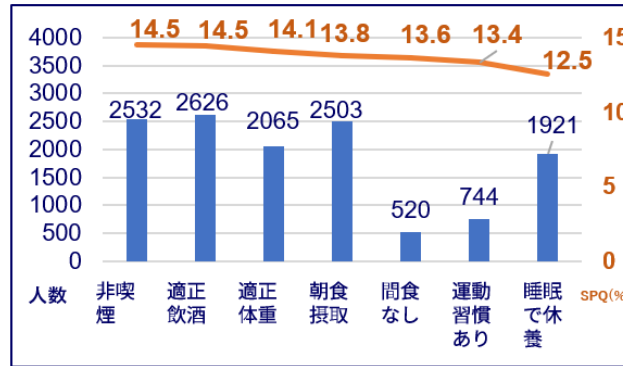
健康診断・プレゼンティーイズム調査と健康習慣の分析

- 健康診断とプレゼンティーイズム調査の結果を照らし合わせ、健康習慣とプレゼンティーイズム調査(SPQ値)の関係性を確認しました
- 「7つの健康習慣」をより多く実施している人ほどSPQ値が下がる(良い状態)という結果となりました(グラフ1)
- 健康習慣の内容は、睡眠>運動習慣>間食>朝食欠食>適正体重>適正飲酒>喫煙の順でSPQ値が下がることが確認されました(グラフ2/3)

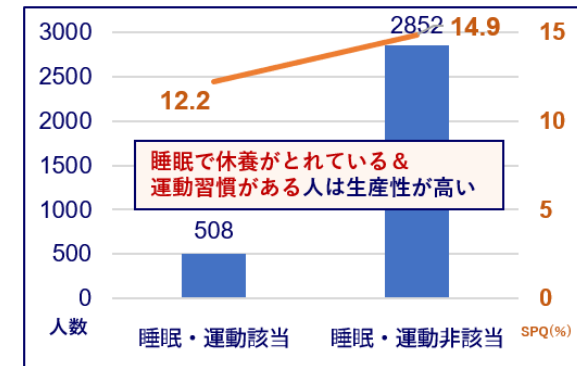
グラフ1. 7つの健康習慣の実施項目数とSPQ平均値



グラフ2. 健康習慣とSPQ平均値



グラフ3. 上位2項目(睡眠/運動)に該当/非該当で比較



【健康習慣とは：ブレスローの7つの健康習慣】

生活習慣と身体的健康度との関係性を調査した結果に基づいて提唱したもので、7つの健康習慣の実践の有無によりその後の健康寿命に影響する

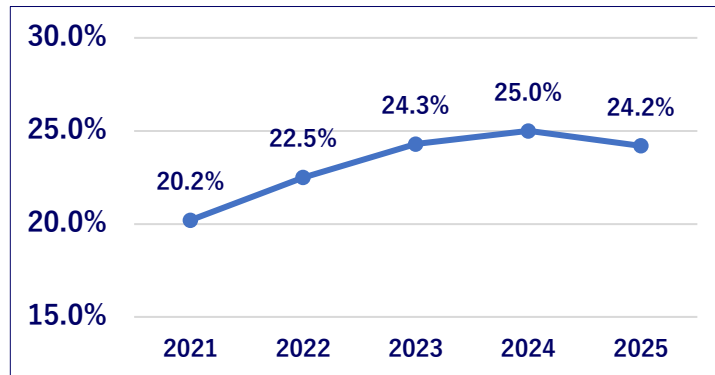
	項目	定期健診問診票の該当項目	良好回答
1	喫煙をしない	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	「いいえ」、「以前は吸っていたが最近1カ月は吸っていない」
2	定期的に運動する	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	「はい」
3	飲酒は適量を守るか、しない	飲酒日の1日当たりの飲酒量	「1合未満」、「1-2合未満」
4	1日7-8時間の睡眠を	睡眠で休養が十分とれていますか。	「はい」
5	適正体重を維持する	健診結果の体重 (BMI)	BMI18.5~24.9に該当する人
6	朝食を食べる	朝食を抜くことが週に3回以上ありますか	「いいえ」
7	間食をしない	朝昼夜の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	「ほとんど摂取しない」

⇒ 当社の健康における課題設定は健康診断結果と年2回のプレゼンティーイズム調査などの健康データを解析し、医療専門職の助言の下、設定しています

【課題①：運動習慣の向上と定着】

2025年度健康診断の結果によると、**運動習慣のある社員は24.2%にとどまり、近年の推移でも横ばいです。**(グラフ1)
運動習慣のない社員ほどプレゼンティーイズムも悪い傾向にあることが分かりました。(グラフ2)
運動不足は健康課題全体の主要因の一つであり、肩こりや腰痛、倦怠感、睡眠にも影響します。各種イベントへの参加促進に加え、勤務中や日常生活で無理なく運動を続けられる環境づくりが課題です。

グラフ1. 運動習慣率の推移



【課題②：睡眠による休養感向上】

2025年度健康診断の結果によると、**睡眠による休養が十分にとれていない社員は43.4%を占めています。**休養状況が良好な社員に比べ、プレゼンティーイズムも悪い傾向にあります。(グラフ2)
過去5回のプレゼンティーイズム調査で**睡眠は5回連続で最大の健康課題**となっています。**最新の調査での損失額は2,133千円(人/年)にもものぼります。**(表1)
個々人が睡眠課題への対処法を知り、実行することに加え、業務負荷の軽減や休息を確保できる職場づくりを継続的に進める必要があります。

グラフ2. 睡眠/運動とプレゼンティーイズムの関係

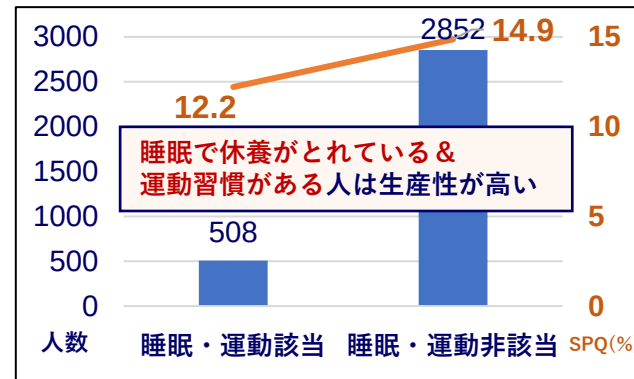


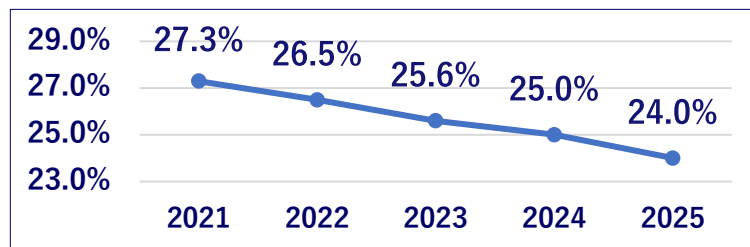
表1. プレゼンティーイズム調査と健康課題の推移

	24/06	24/12	25/06	25/12	26/06
TOP 1	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
TOP 2	倦怠感	腰痛	倦怠感	腰痛	肩こり
TOP 3	肩こり	肩こり	肩こり	肩こり	腰痛
TOP 4	下痢	目	腰痛	目	倦怠感
TOP 5	不安	倦怠感	不安	不安	目

【課題③：喫煙率のさらなる低下】

喫煙率は毎年1%程度減少しています。しかし、業界水準と比べ高く、さらなる喫煙率低下に向けて取り組みを強化する必要があります。喫煙がもたらす健康被害を考慮し、喫煙者が健康への問題に自ら気づき改善するための動機付けと、具体的な支援が必要です。また、非喫煙者への悪影響を考慮し分煙を徹底するために、喫煙所の削減や移転を実施していきます。

■喫煙率（％）対象範囲：イビデンおよび国内グループ会社



【課題⑤：女性の健康】

女性特有の健康課題は周囲に相談しづらく、本人が不調を抱えたまま働くことで就業継続や能力発揮に影響する可能性があります。当社では女性社員数の増加や年齢構成の変化に伴い、女性の健康に関する知識と理解を男女問わずさらに高めていく必要があります。プライバシーに配慮した相談体制や、健康上の理由によって働く機会が損なわれない職場づくりを進める必要があります。

■女性社員数の推移

対象範囲：正社員・非正社員含む

年度	2021	2022	2023	2024	2025
人数	475	522	578	597	649

【課題④：メンタル不調/ハイリスクへの対応】

これまでの取り組みにより、2025年度のメンタル不調発生率は1.2%（前年度1.7%）と減少に転じました。しかし、早期発見と未然防止に向けた対策を継続していくことが必要です。ラインケアを充実し、労働時間が長い社員への個別面談等、支援につなげる体制を整備することが必要です。また、高血圧・高血糖・脂質異常症などのハイリスク者には、継続的に産業医・保健師による健康指導を行う必要があり、上司の声掛けや参加しやすいイベントなど、会社全体で改善への取組を行うことが課題です。

2025年度結果：イビデン単体

定期健診後の精密検査受診率	100.0%
特定保健指導実施率	42.7%
高ストレス者率	5.4%
血圧リスク者率	1.3%
血糖リスク者率	0.4%

【課題⑥：シニア社員の体力作り支援】

70歳までの定年延長が議論される中、高齢のシニア社員が増加していきます。加齢に伴う運動機能と体力、筋力の低下により、腰痛や転倒等の労災発生リスクが高まると予測されます。シニア社員が安全・安心に就労できるよう、体力や筋力の維持をサポートする必要があります。

■60歳以上の労災発生件数

対象範囲：イビデンおよび国内グループ会社(派遣・請負を含む)
※微傷以上の労働災害件数

年度	2021	2022	2023	2024	2025
件数	5	3	1	3	3

【取り組みと実績①：運動習慣の向上と定着】

- 健康保険組合と会社で協業して行うウォーキングイベント（春・秋）を継続開催
- 夏・冬に会社独自のウォーキングイベントを追加開催
[2025年度参加者数 5,312名]
- グループ会社も含む社員と家族が参加できる運動会の開催
[毎年3,000名以上が参加]
- 部活動の活性化 [540名が加入 前年より+87名]
- 社員が無料で利用できる自社ジムを建設中 [2027年1月開設予定]

【取り組みと実績③：喫煙率のさらなる低下】

- トップメッセージにて喫煙率低下への取組みを改めて表明
- 喫煙者に対して禁煙プログラムの無償提供を開始 [200名分の予算確保]
- 喫煙者に対して禁煙パイポの配布を開始 [200名分の予算確保]
- 非喫煙者に対する悪影響を排除するため、事業場の喫煙所の統廃合・移転を実施中 [2027年春までに完了予定]
- 2026年末より喫煙時間を制限予定
- 禁煙サポートプログラム(禁煙ラリー)継続 [2008年度より延べ200人が参加]

【取り組みと実績②：睡眠による休養感向上】

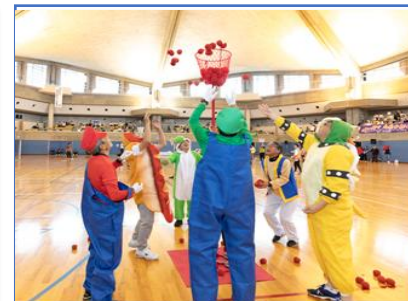
- 社員自身が睡眠状態を評価できる「睡眠アンケート」を展開 [利用数約400名]
- 睡眠アンケートにより改善を要する課題ありと判断された際に、専門職による面談などで改善を目指す「睡眠改善プログラム」も展開 [利用者数約30名]
- 睡眠課題を持つ社員が臨床心理士などの専門職に気軽に相談できる「ポケットセラピスト」を通じた無料相談を提供 [面談数30回/月]
- 睡眠と睡眠課題へのリテラシー向上を目的とした睡眠セミナーを開催
- 産業医/保健師による睡眠に関する正しい知識の展開



睡眠改善プログラムの案内



自社独自ウォーキングイベントの案内



運動会の一コマ

【取り組みと実績④： メンタル不調/ハイリスクへの対応】

- 産業医/保健師による健康面談での通院状況や生活習慣の継続確認 [健康面談 2,100名以上実施]
- メンタル不調の早期発見と対応を目的とした管理職教育 (2026年度係長職を追加) [実施率100%]
- 労働時間が長い社員に対する人事部門によるモニタリング/労使協議会での検討/直接面談 [直接面談は2025年度約120名に実施]

■メンタル不調
発生割合の推移

2021	2022	2023	2024	2025
0.8%	1.3%	1.4%	1.7%	1.2%

【取り組みと実績⑥： シニア社員の体力作り支援】

- シニア社員の体力測定を実施 (50歳・55歳・59歳) し自身の体力に気づく機会を提供 [2025年度200名以上参加]
- スポーツインストラクターによる改善に向けた運動指導を実施
- 動画配信によるシニア社員への安全体力への意識向上 [第3弾まで公開]
- ベテラン活躍サイトの展開 [対象者の約50%が登録]

【取り組みと実績⑤：女性の健康】

- プレコンセプションケアの一環として子宮頸がん(HPV)セルフ検査キットを希望者に無償提供 [2026年9月 74名利用]
- 将来に向けての正しい知識の習得と対応について啓発を実施
- 女性の健康課題アンケート(表1)により課題を把握し健康情報の提供に活用
- 運動会にて社員とその家族を対象に女性の健康啓発イベントを開催
- 協力会社の従業員へ女性の健康に関する研修を実施
- 女性の健康セミナーを定期開催

(表1) 2025年度：女性の健康課題に関する調査結果 (抜粋)

月経前症候群 (PMS)	43.0%
月経困難症	18.0%
更年期障害の症状	19.0%



ベテラン活躍サイトのトップページ



運動会での女性の健康
啓発イベント

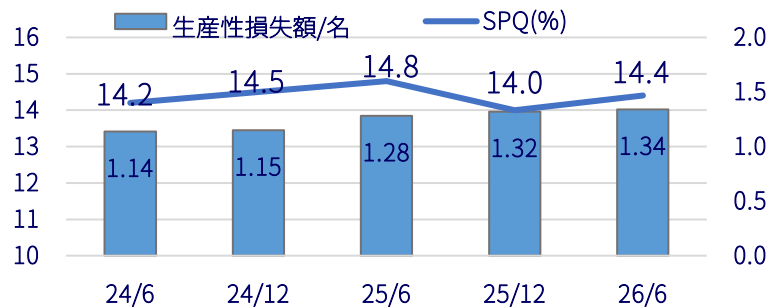
■予兆管理/プレゼンティーズム測定

出勤しているものの心身の健康に何らかの問題を抱えていることが原因で、業務遂行能力や生産性が低下している状態をプレゼンティーズムといいます。社員のエンゲージメントや生産性向上(プレゼンティーズム改善)に向けて、対策を進めています。

2024年度よりQQmethod※1という測定方法を追加し、外部調査にて健康課題(睡眠、腰痛、肩こりが上位)を特定しています

<測定方法(頻度、対象、回答率)>

SPQ測定※2(2024年度より2回/年、イビデン単体、94.8%)



■健康アンケート

イビデンおよび国内グループ会社、派遣社員、請負社員など、構内で働くすべての従業員を対象とした健康アンケートを毎年実施しています。アンケート結果は従業員の健康意識の確認や、課題解決に向けた施策につなげています。

【2026年7-8月分析結果】

- 健康習慣は前年度より概ね改善傾向。一方、腰の負担は増加
- 腰痛は、立ち作業が多い40代、50代に多い傾向
- 作業環境・姿勢改善の腰痛対策に加え休息の取り方を周知

■ワーク・エンゲージメントの調査と課題への対応

社員意識調査にてワーク・エンゲージメント(活力・熱意・没頭)に関する指標において定点観測を行っています。意識の変化や仕事のやりがいなどを把握して課題改善に向けた対応をしています。2025年度全体の特徴は下記の通りです。

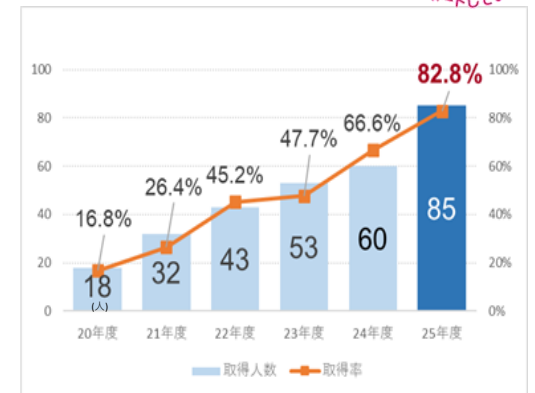
- 協働し役割を果たそうとする意識が高く前向きな職場運営を心掛けている
- お互いの価値観を認め信頼関係を築くことができている可能性が高い
- 特定の人たちに業務負荷がかかり職場運営のバランスを欠く恐れがある
- 職場で仕事の進め方を見直し改善に向けて相互にやりとりができる状況をつくり出すことが必要

	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度
社員意識調査(関連総合スコア)	3.30	3.40	3.45	3.62

【topics】両立支援の取り組み

社員数の増加に伴い、より多様な社員とその背景、多様な働き方への対応が必要となっています。特に育児・介護については今後の会社の事業維持との関係が強いと位置づけ、重点的に取り組んでいます。

- 男性育児休業取得率の向上：2025年度の取得率は82.8%と高い数値となっています
- 自社主催育休セミナーの開催：労使協業で年2回開催しています
- 休業前面談および育休復職前面談：本人・上司・人事で復職後の不安軽減のために実施しています
- 介護相談窓口の設置：24時間365日のケアマネジャー等の専門家への相談窓口を設置しています



男性育児休業取得率の推移



健康経営データ：2026年9月時点

健康経営データ(指標)と中期目標	実 績 (イビデン単体)					目 標
項目	2021	2022	2023	2024	2025	2027
運動習慣化率(%)	20.2	22.5	24.0	25.0	24.2	30以上
適正体重維持者【BMI18.5-24.9】(%)	61.7	61.8	61.6	61.4	61.0	70以上
喫煙率(%)	27.7	26.5	25.6	25.2	24.4	20以下
定期健康診断結果 【腹囲：男性85cm、女性90cm以上の該当者比率】(%)	38.8	40.7	39.8	40.3	42.4	30以下
傷病による休職の状況【1ヶ月以上休業した社員の発生率】(%)	1.6	2.5	2.8	2.6	2.3	1.0以下
うち、メンタル不調発生率(%)	0.8	1.3	1.4	1.7	1.2	0.5以下
総労働時間(時間)	2,165	2,069	2,029	2,058	2,052	2,000以下
年次有給休暇取得率(%)	79.5	86.8	82.3	83.5	86.3	100
ストレスチェック受検率(%)	83.4	94.6	92.7	97.0	92.6	90以上

実績 (イビデンおよび国内グループ会社)			
個別施策に対する健康投資額(百万円)	2024	2025	2026
・イビデングループハツラツ運動会 ■運動会では毎年代表取締役社長より従業員とご家族に向けて、健康経営の積極的な推進と運動習慣化やコミュニケーション活性化について、トップメッセージを発信。運動会実施後アンケートでは約7割が満足と回答。運動習慣化率も向上しており、健康投資に一定の効果があると考えています。	15	16	19
・福利厚生【カフェテリアプラン制度（健康関連メニュー利用実績）】 ■2024年度よりカフェテリアプラン制度を導入しました。健康リスク対策(禁煙治療補助等)支援や花粉症治療、スポーツ施設の利用補助、睡眠対策グッズの購入補助などのメニューを充実させています。※他、自己啓発や両立支援に関するメニューも充実させています。	15	46	※1
・喫煙率低下への投資 ■喫煙率の更なる低下に向けて禁煙プログラム中期目標20%との差である約200名分の禁煙プログラム提供と禁煙パイプ配布を開始しました。また、非喫煙者への健康被害防止のため、より徹底した分煙を行うため喫煙所の移設・整備を実施しています。	※2	※2	107

※1：2027年4月集計予定 ※2：喫煙率低下への投資単独としては なし（福利厚生の一環として計上）



イビデン株式会社

<https://www.ibiden.co.jp/>

〒503-8604

岐阜県大垣市神田町2-1

TEL. 0584-81-3111(代)

発行: 経営企画本部 人事統括部 ウェルビーイング推進部